

平成29年度 第2回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成29年5月17日（水）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第3委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前11時25分

○ 出席教育長、委員の氏名

教育長 嶋 公治

委員（教育長職務代理者） 深田 勇

委員 中川 茂

委員 佐伯 和重

委員 向井 美紀

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 丸谷 統一郎

教育総務課長 和藤 達也

こども教育課長 能登 琢也

こども教育課参事（こども支援センター所長） 福富 省吾

こども育成課長 宮本 ゆかり

教育総務課参事（課長補佐） 正木 一郎

教育総務課教育総務係長 若森 和歌子

事務局以外 地域コミュニティ振興部

生涯学習課長 小谷 士郎

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

中川 茂 委員

第2 豊岡市教育委員会教育長職務代理者の指名について

第3 前回の会議録の承認

平成29年4月21日（金）開催 第1回定例会

#### 第4 教育長の報告

#### 第5 地域コミュニティ振興部の報告

##### 1 生涯学習課

- (1) 「野生復帰大作戦」について
- (2) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について

#### 第6 議事

- 議案第4号 豊岡市社会教育委員の委嘱について
- 議案第5号 平成29年度6月補正教育関係予算案に関する意見について
- 議案第6号 物件購入契約の締結に関する意見について
- 議案第7号 豊岡市指定文化財の指定解除について
- 報告第5号 寄附物件の受納について（5件）

#### 第7 協議事項

- 1 教育委員会の点検・評価報告書について
- 2 教育委員が務める各種協議会等の委員について
- 3 平成29年度の教育委員会活動計画について

#### 第8 教育委員会事務局の報告

##### 1 教育総務課

- (1) 豊岡市奨学生応募状況について

##### 2 こども教育課

- (1) 学校閉庁日の導入について
- (2) 学校訪問の実施について
- (3) 豊岡市こども支援センター4月の活動状況報告について

##### 3 こども育成課

- (1) 就学前の児童数について
- (2) 支援にかかる園訪問について

#### 第9 教育委員会活動報告

#### 第10 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午前9時30分

(教育長)

ただいまから、平成 29 年第 2 回定例教育委員会会議を開会します。本日は、教育委員全員が出席しておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。

**【日程 第 1 会議録署名委員の指名】**

(教育長)

日程 第 1「会議録署名委員の指名」ですが、本日は中川委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

**【日程 第 2 豊岡市教育委員会教育長職務代理者の指名について】**

(教育長)

日程 第 2「豊岡市教育委員会教育長職務代理者の指名について」です。平成 27 年 4 月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が施行されており、本市でも新教育委員会制度に基づく教育委員会となります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定に基づき、本日付で深田勇委員を教育長職務代理者として指名しましたので報告します。なお、指名期間は、職務代理者として別の教育委員を指名するまでの期間としております。

なお、席次ですが豊岡市教育委員会会議規則で教育長が定められており、今、ご着席いただいている席次とさせていただきます。

**【日程 第 3 前回の会議録の承認】**

(教育長)

日程第 3「前回の会議録の承認」です。平成 29 年 4 月 21 日に開催しました第 1 回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めます。事前に配布して確認をいただいていると聞いておりますが、誤った点、修正などなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

なし、という声がありますので、会議録は承認することに決定します。

**【日程 第 4 教育長の報告】**

(教育長)

日程第 4「教育長の報告」です。前回の教育委員会会議の 4 月 21 日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育長の主要な教育活動の概要について報告することになります。しかし、私の任期は本日からですので、前任の教育長職務代理者である教育次長から報告をお願いします。

《教育長（教育次長）の報告概要》

4月27日(木)、近畿都市教育長協議会の定例総会に出席した。長浜市から報告、発表があった。その中で、今の長浜市の教育は、豊岡市に学んだことがたくさんあったと紹介された。今までに豊岡がやってきたことを他市町で実施されており、豊岡の教育は最先端の取組を行ってきたのだと感じた。

5月1日以降、中学校訪問を行った。各学校とも落ち着いている状況で授業もしっかりと受けていた。以上の2点である。

(教育長)

ご質問などございませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

では、教育長の報告を以上で終了させていただきます。

#### 【日程 第5 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第5「地域コミュニティ振興部の報告」です。生涯学習課長の報告をお願いします。

#### 《生涯学習課長の報告概要》

##### (1) 野生復帰大作戦事業について

野生復帰大作戦事業は、12年目を迎えた。参加者を募集し、5月から活動が始まっている。年間のスケジュールと実際の参加人数について報告する。

わくわく生き物コースは40名の募集を行ったが、51名の応募があった。安全面等を考え、定員を40人として、抽選して参加者を決定した。年間6回開催する。チャレンジ冒険コースは、募集定員30名に対して20名の応募があった。年間5回開催する。自然派家族コースでは、募集は50組であり、申し込みは42組155名であった。年間6回のコースである。

それ以外に地区コミュニティセンターと協力し、出向く野生復帰大作戦を実施する。募集は時期に合わせてコミュニティセンターと一緒に進める。7地区で行う予定である。

##### (2) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について

6月27日から7月2日までの6日間、豊岡市内で世界で活躍されている方、あるいは世界を目指す若者たちによる音楽会を開催する。コンサートの内容は、街角コンサート、ホールコンサート、学校訪問コンサートとして3つの柱で実施している。特に学校訪問コンサートは、6月27・28・29・30日と、小学校が6校、中学校が3校で行う予定である。特に世界で活躍されているウィーン交響楽団の方、弦楽器の方、管楽器の方で行う予定である。

さらに今回の取組として、プレコンサートを行っている。6月4日と6月11日に子どもたちも参加するイベントを行う予定である。ファイナルコンサートでは市内の中学生8名が参

加し、フルート音楽隊、「フルートキッズ」という名前で4中学校から8名の子どもたちも参加する。

(教育長)

報告は終了しました。質問等ありますでしょうか。中川委員どうぞ。

(中川委員)

野生復帰大作戦事業についてですが、事業そのものについては質問はないのですが、今まで11年やってきて、実際に参加した子どもたちはどのような思いを持っているのか、アンケートなどを取られたようなことはありますか。もしあれば教えてください。

(教育長)

生涯学習課長、いかがでしょうか。

(生涯学習課長)

今報告書を手元に持ってきていないのですが、昨年から事業実施後の子どもたちへのアンケートと、1年間で子どもたちがどう変わったのかについて指導者からの報告をいただいております。どうしても1年で大きく変わるということはないのですが、子どもたちが元気になった、大人たちとの関わりが不得意だったのが関わりに対して抵抗がなくなったと報告を受けております。おそらく自然体験がすぐに何か役立つのではなくて、ある程度時間が経ったときに子どもたちにとって役に立ってることが実感できるのではないかという感想を持っておりますので、地道に続けていきたいと考えております。今年度は、事業委託の契約内容に子どもたちのアンケートの実施について明記しているので、結果についてご報告させていただきます。

(中川委員)

わかりました。

(深田委員)

確認ですが、おんぶの祭典の学校訪問コンサートは、基本的に各学校関係者以外は参加できませんと書かれていますが、見学することは可能でしょうか。

(生涯学習課長)

どなたでもというわけにはいかないですが、参加希望される方があれば、事前に報告をいただければ参加可能です。他に各学校で保護者の方などと連絡を取り合いながらたくさんの方に参加いただいております。

(深田委員)

わかりました。

(教育長)

その他、質問はございませんか。それでは地域コミュニティ振興部からの報告を終わります。

**【日程第6 議事】**

(教育長)

日程第6「議事」に移ります。最初にお諮りをします。議案第4号 豊岡市社会教育委員の委嘱につきましても人事に関するものであり、また議案第5号平成29年度6月補正教育関係予算案に関する意見について、議案第6号物件購入契約の締結に関する意見については、この後議会に議案として提出され、議決を得るべき事項となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますがいかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(教育長)

出席委員全員の承認を得ましたので議案第4号から議案第6号については非公開とします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めさせていただきます。

○議案第4号 豊岡市社会教育委員の委嘱について

**【非公開会議】**

《 豊岡市社会教育委員に関する条例第1条、第2条及び第4条の規定に基づき、豊岡市社会教育委員を委嘱することについて、生涯学習課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。 》

○議案第5号 平成29年度6月補正教育関係予算案に関する意見について

**【非公開会議】**

《 教育総務課長、こども教育課長、こども育成課長が説明し、審議の結果、「意見なし」と決定した。 》

○議案第6号 物件購入契約の締結に関する意見について

**【非公開会議】**

《 教育総務課長が説明し、審議の結果、「意見なし」と決定した。 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。本日は傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま会議を進めさせていただきます。続きまして議案第7号「豊岡市指定文化財の指定解除について」です。

教育総務課長の説明をお願いします。

○議案第7号 豊岡市指定文化財の指定解除について

〈教育総務課長の説明概要〉

所有者から火災による滅失届が提出されたため、教育委員会が文化財審議委員会に指定解除についての諮問を行い、5月9日に文化財審議委員会が開催された。文化財審議委員から指定解除について答申を受けたので、豊岡市指定文化財から解除することについて審議をお願いしたい。

(教育長)

質問やご意見はありますか。

(委員)

なし。

(教育長)

討論に入ります。ご意見はありますか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、豊岡市指定文化財の指定を解除することを決定いたします。

(教育長)

続きまして、議事報告第5号「寄附物件の受納について」教育総務課長の説明を求めます。

○報告第5号 寄附物件の受納について（5件）

〈教育総務課長の説明概要〉

団体5件から寄附物件の申出があり、これを受納したので報告する。5件全て卒業記念・退職記念等に係る寄附である。

(教育長)

ご質問、ご意見を一括して受けますが、ありますか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。ここで休憩を取りたいと思います。再開は10時20分といたしますのでよろしくお願ひします。

【日程第 7 協議事項】

(教育長)

引き続き審議を再開します。協議事項 1 「教育委員会の点検・評価報告書について」、教育総務課長の説明をお願いいたします。

1 教育委員会の点検・評価報告書について

《教育総務課長の説明概要》

別冊資料の平成 29 年度 教育委員会の点検・評価報告書により説明する。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、策定しなければならない教育委員会の点検・評価報告書、平成 28 年度事業分の案であり、6 月定例会で議案として提出をする予定である。教育委員会活動のまとめとして事務局案を提出しているの、意見をお願いしたい。4 月 26 日の教育委員協議会での意見や確定数値は修正した。関西学院大学の佐藤真教授の外部意見をいただき、次回委員会で点検・評価報告書を確定したい。

(教育長)

それではこの点検・評価報告書につきましては、あらかじめご確認いただいていると思います。全体、それから、とりわけ教育委員活動のまとめにつきましては、質疑・意見を一括して受けたいと思います。

(深田委員)

教育委員活動のまとめのところに関してです。2 段目ぐらいの中の段のところに「学校・園訪問や社会教育行事への積極的な参加により」となっていますが、ここは委員の活動ですので、私たちが行ってきた「教育研修会等への」という言葉を入れていただいたほうが良いのではないかと感じました。特別に支援を要する子どもたちに対する研修や不登校等に対する対策についての研修会等について、皆さんよく参加されていたので。

(教育長)

文言の体裁は後ですとして、「教育研修会への参加」という旨をここに入れてはどうかというご意見です。委員の皆さん、どうでしょうか。

(委員)

異議なし。

(教育長)

それ以外に何かありますのでしょうか。



(委員)

なし。

(教育長)

それでは、この件につきましては事務局で修正していただきますようよろしくお願いします。

(教育長)

続きまして協議事項2「教育委員が務める各種協議会等の委員について」です。教育総務課参事の説明をお願いします。

## 2 教育委員が務める各種協議会等の委員について

### 《教育総務課参事の説明概要》

但馬教科用図書採択地区協議会は、小学校の特別の教科、道徳、教科書の初採択となり、今年度必要になる。教科書採択の年ではないが、道徳の教科書の採択のために特別に協議会が開催されるため、委員の就任が必要である。現在任期中の協議会等では豊岡市奨学生選考委員会と豊岡市民生委員推薦会で佐伯委員さんが就任されている。豊岡市基本構想審議会は、中川委員であるが、すでに答申は終了している。委員を選出しなければならないものとして、豊岡市小中一貫教育推進協議会と豊岡市男女共同参画社会推進懇話会がある。

トライやる・ウィーク推進協議会は、従来委員長が担当委員となっているが、会議の招集者としての立場になっていく必要があるため、教育長が委員となることが良いと考えられる。豊岡市進学対策協議会は、もともと全委員が委員となっている協議会である。この協議会は、県への要望を行う側面を持っているため、最終的には協議会のほうで判断されることになるが、事務局の長である教育長が協議会長になることは、適切ではないと思われる。そのため、教育長職務代理者の立場の方になっていただくのが良いと考える。豊岡市要保護児童対策協議会は、従来委員長であったが、今回から委員を1人選出する必要があり、引き続き深田委員にお願いしたい。青少年問題対策協議会としまして、従来は委員長と教育長の2人出ていただいていたが、事務局と相談し、教育長のみとする。

(教育長)

順番に確認します。豊岡市奨学生選考委員会の委員は佐伯委員が務めていただいて、まだ任期があるということで、これでお願ひしたいと思います。豊岡市小中一貫教育推進協議会は、前任は宮嶋委員でしたが退任されましたので、この委員の中から1名ということですね。

(教育総務課参事)

はい。そうです。

(教育長)

どなたかに委員に就任いただきたいということですね。

トライやる・ウィークの推進協議会は教育長の私が就任したいと思います。

それから、豊岡市進学対策協議会は、昨年も深田委員にずっと務めていただき、要領もよくわかっていただけていますので、ぜひとも今年度は教育長職務代理者としてお願いしたいと思います。

豊岡市要保護児童対策協議会は、先ほど事務局の提案どおり委員会1名ということで、深田委員にご指名がありましたけれども、また後でご意見を伺います。

豊岡市青少年問題対策協議会は教育長のみですので、私が出席をいたします。

豊岡市男女協働参画社会推進懇話会は委員から1名で前任が宮嶋委員ですので、どなたかをお願いします。

豊岡市民生委員推薦会につきましては佐伯委員が任期中ですのでお願いします。

但馬教科用図書採択地区協議会は教育長ともう1名ですね。

(教育総務課参事)

はい。そうです。

(教育長)

それでは、まず小中一貫教育の推進協議会について、どなたかお願いできますでしょうか。

(中川委員)

これは去年も言ったのですが、なかなか勉強になる協議会なので、できれば今まで務めてられない委員が就任したほうが良いと思います。

(教育長)

別の委員が就任されるのが良いというご意見ですね。そうしましたら、なかなかこれまでの歩みがわからなかったら難しい面もありますので、深田委員にお願いできますでしょうか。

(深田委員)

今年から全中学校区で始まっている小中一貫教育は、豊岡の1つの目玉の教育施策でもあり、とても関心を持っておりますので、お受けいたします。

(教育長)

では深田委員ということでお願いします。豊岡市要保護児童対策協議会で、事務局は深田委員はどうかということですが、深田委員いかがでしょうか。

(深田委員)

これはいろいろと行政サイドと言いますか、市長部局とのこともかなり多いですので、中川委員にお願いできたら良いと思いますが。

(教育長)

中川委員いかがでしょうか。

(中川委員)

わかりました。

(教育長)

では中川委員、お願いします。それから豊岡市男女共同参画社会推進懇話会へ委員を選出することになりますが、いかがいたしましょうか。

(中川委員)

担当課は、女性を希望していたと思いますが。

(教育総務課参事)

事務局から、できれば、女性の委員を希望したいと聞いております。

(深田委員)

向井委員にお願いしては、と思います。

(教育長)

では向井委員、よろしいですか。

(向井委員)

そうですね。教育委員に就任したばかりで不安ですが、お受けします。

(教育長)

それでは、お願いします。但馬教科用図書採択地区協議会の会議は、2回ありますね。6月27日と8月7日、採択委員は、教科書について教育長と一緒に協議するということになっております。どなたか1名お願いできますか。

(中川委員)

これは前委員長にお願いしたい。

(深田委員)

わかりました。私でよかったら務めさせていただきます。

(教育長)

それではもう一度確認します。豊岡市奨学生選考委員会の委員は、佐伯委員、豊岡市小中一教育推進協議会の委員は、深田委員、トライやる・ウィーク推進協議会は、教育長、豊岡市進学対策協議会会長は深田委員、豊岡市要児童対策協議会委員は、中川委員、豊岡市青少年問題対策協議会は、教育長、豊岡市男女共同参画社会推進懇話会は、向井委員、豊岡市民生委員推薦会は、佐伯委員、但馬教科用図書採択地区協議会は、深田委員、以上でよろしいですね。

(教育長)

続きまして協議事項3「平成29年度の教育委員会活動計画について」、教育総務課教育総務係長の説明を求めます。

### 3 平成29年度の教育委員会活動計画について

#### 《教育総務課係長の説明概要》

前回の会議終了後に、定例教育委員会を各地域に移動して開催した教育委員会会議を今年度はどうするかについてお尋ねしたが、両方の意見があったので、再度意見を聞きたい。

(教育長)

移動教育委員会のことにつきまして、今事務局から質問がありましたが、ご意見を聞かせていただきたいと思います。移動教育委員会にするのか、このような一定の会場でやるのかということですね。

(教育総務課係長)

はい、そうです。

(深田委員)

両方の意見があり、それぞれ一理あると思いますが、あとは自分の意見となります。私は、やはり1回は回ったほうがいいのではないかと考えています。例えば県議会の常任委員会が今年から地域に分かれて1回はやることになったと聞きました。それが良いからという意味ではないですが、より身近に感じるという意味では移動教育委員会も煩雑ですが必要かと思っています。

(中川委員)

前日も言いましたが、移動して開催することになれば、各課職員は、本庁から開催地へ説明に行くことになり、負担になる。

(教育長)

その他ご意見は。佐伯委員、いかがですか。

(佐伯委員)

移動があるのでしたら雪の時期はちょっとやめていただきたい。昨年の移動教育委員会は、大雪に重なり、道路状況が悪くてとても危険でしたので…。

(中川委員)

それは最低限考えないといけない。

(教育長)

なぜ移動教育委員会をするのかという根本なのですが、それは地域性があるので、その地域を研鑽しながらどういう問題があるかということをつかむためには効果がありますけど、もう皆さん知っている地域だということから考えたら、その必要があるのかなという疑問もあります。例えば以前地域に出向いて行って、それぞれの校区にある学校の校長からプレゼンをしたり、特徴的な教育活動について説明を受けるといって、特徴的な活動があれば、移動の委員会も意味があると思います。内容とセットにして考えなければならないと思います。ただ単に出かけるということでは事務局も煩雑になるだけだと思います。どうでしょうか。とりあえず今年は皆さんの意見を入れながら、移動教育委員会は続ける、その内容についても考えながら続ける。しかし、積雪なども考慮しながら、時期も考えていただくというところで対話をして共感をしたという話にしたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員)

わかりました。

#### 《こども教育課長の説明概要》

トライやる・ウィーク、自然学校の視察について、6月1日の午前中で日程を組んだ。今年度は日高方面になり、日高東中・日高西中のトライやる・ウィークを視察する。視察先は、フジテックと奥神鍋のフォレストアドベンチャーである。フォレストアドベンチャーは、アウトドアの体験施設であり、新たなトライやる・ウィーク先である。その後、竹野スノーケルセンターへ移動し、八条小学校と新田小学校の自然学校の様子を視察する。竹野スノーケルセンターでは、竹野中学校がトライやる・ウィークをやっている。

#### 《教育総務係長の説明概要》

教育懇談会については、後日、決定したい。管外行政視察について、不登校、家庭教育について事務局で調べていますが、教育委員の意見等があれば、後日でも良いので教えてほしい。視察先は、関係課とも協議し、提案したい。協議会と学習会は、随時開催する。

(教育長)

では今年度の教育委員会活動の計画につきまして、全体を通してご意見がありましたらお聞きします。深田委員。

(深田委員)

協議会、学習会についてですが、1つはプログラミング教育が入ってくることになる。プログラミング教育は、もちろん学校現場でも研究は進んでいくと思います。私たちが具体的な授業の中でどうのこうのということではなくて、プログラミング教育について学習をすることも必要かなというのが1点。もう1点は、これから平成32年までの間、公立学校はコミュニティ・スクールを目指すということが出ていたと思いますので、そのコミュニティ・スクールの学習会を開催する必要性を感じております。例えば丹波市などではすでに実施していると聞いていますので、その辺の資料をいただき、学習するというのも必要だと感じております。あと教育懇談会、管

外視察等については、まだまだ考えがまとまっておりません。

(教育長)

プログラミング教育は今度学習指導要領でも大きく打ち出されて、豊岡市の学校ではそのことに着手している様子はまだありませんので、1つだと思えます。それからコミュニティ・スクールですが、その前身が学校評議員会制度ですね。これは確かに勉強する必要があります。人事等についても介入する権限があるような組織になり、その延長線上にまずコミュニティ・スクールがあると考えられますので、順を追ってそのことも追い追い研修する必要があるかと考えます。事務局でそれを参考にしてください。

(中川委員)

学校園の訪問については、今年は小中一貫がスタートしているので、ふるさと教育・英語教育・コミュニケーション教育を少なくとも1時間は見せてもらいたい。学校訪問の中で見せてもらえるような計画をお願いしたい。例えばふるさと教育は、実際テキストを使ってスタートしたばかりであるが、どういう授業がなされているか見たい。去年、但東の子どもたちが東京に行って帰ってきた報告会があったが、それも見学したい。英語教育とコミュニケーション教育に関してはALTによる授業をされ、コミュニケーション教育は平田先生が来られると思えますので、それらもちろん見たいのですが、現場の先生とALTとの連携や、現場の先生の授業を受けている子どもの反応を見たいので、ぜひお願いしたい。それによって、先生たちも相当負担が大きいのは間違いないので、少し様子を見ながら教育委員会としても動いていかなければいけないと思えます。これはぜひお願いしたいと思えます。それから数多くの教室を細切れで行くよりは、今年は腰を据えて見させてもらったほうがいいと思えます。

(教育長)

私もそう思います。教育委員さんが子どもの事実、先生の実事をしっかりつかむという意味でも学校園訪問の際にテーマを決め、焦点化しながら学校訪問を行うのは良いことだと思います。もう1つはキャリア教育で但東がやったように、何か学校が実施する発表会や催し物があったら情報提供をいただきながら、できるだけ積極的に参加して、事実を見て、そして次年度の評価に生かし、施策に展開するという、そんなかたちが望ましいと思えます。

(こども教育課長)

今、学校訪問の日程調整をしているのですが、教育長の日程、教育委員さん方の日程、それと学校の行事予定、いろんな研修会等もありますので、かなり苦勞しております。その中で英語は毎週時間割に位置づけられていますので、その曜日にあたれば、見ていただける可能性は高いと思えます。コミュニケーション教育につきましては、演劇的手法を用いた授業は年3回であり、その授業を学校訪問の日に設定するというのはなかなか難しいところがあります。コミュニケーション教育のモデル校では、今年度は先生の授業を平田オリザ先生に見に来ていただいて指導を受ける時に、授業を公開しておりますが、5月26日から1学期の分がスタートします。コミュニケーション教育で先生が実際にされている演劇的手法の授業は、学校訪問という機会ではなくて、

コミュニケーション教育のモデル校の公開授業が年3回5校でありますので、15回あります。そのご案内をさせていただきますので、そこで見ていただけたらと思います。ふるさと教育につきましても、年間10時間とか15時間という総合的な学習の時間になりますので、学校訪問の日に設定ができれば良いですがなかなか学校もタイトなスケジュールでやっていますので、難しい面があります。1年間の集大成としての報告会や発表会などの機会をご案内できたら良いと思います。

(教育長)

1日訪問でゆっくり時間があるときの1コマは、できる限りその意向を汲み、コミュニケーション教育は2時間、3時間で1ユニットとなりますので、案内を受けたらできるだけ積極的に参加していただきたいと思います。

それ以外ありますでしょうか。

(委員)

なし。

## 【日程第8 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして日程第8「教育委員会事務局の報告」です。豊岡市奨学生応募状況について教育総務課長の報告を求めます。

### 1 教育総務課

#### 《教育総務課長の報告概要》

##### (1) 豊岡市奨学生応募状況について

平成29年度豊岡市奨学生の応募状況について報告する。4月2日から4月28日までの期間に受付を行った。応募状況は、高校生が1名、大学生が6名の計7名であった。6月16日(金)に選考委員会を開催し、定例教育委員会で決定する。

(教育長)

今の件につきまして質問・ご意見一括してお受けします。ありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それではこれで教育総務課の報告を終わります。

続いて、学校閉庁日の導入について、学校訪問の実施について子ども教育課長の報告をお願いします。

## 2 こども教育課

### 《こども教育課長の報告概要》

#### (1) 学校閉庁日の導入について

資料に基づき説明する。導入の背景は、学校現場の勤務状況、長時間勤務が社会問題化し、マスコミ等で取り上げられている。直接的な勤務時間の適正化にはつながらないが、多忙感の解消や県から通知が出ている年次休暇を年間 10 日間計画的に取得すること等への効果を期待している。職員の心身の健康の保持増進が目的であるが、休暇を取りやすい環境作りを進めること、夏の省エネルギー対策を行うとして、導入することになった。実施は、8月13日から15日のお盆の期間、この3日間を基本として毎年のカレンダーに応じて校長会と協議して決定する。サービスについては勤務を要しない日ではないので、年次休暇等、夏季休暇、週休の振り替え等で一斉に休んでいただく。ただ県費負担教職員だけではなくて市費の校務員さん等もある。当日勤務を要する職員がある場合は、教育委員会と別途協議をするというような内容を付け加えながら提示する。

保護者、地域、市民への周知は、6月25日に発行される広報とよおか7月号と6月20日発行の教育委員会だより、ホームページは6月中旬に掲載し、周知する。各学校では、6月1日付で教育長と各学校園長の連名で文章を配布して、保護者への周知を行う。7月には、学校だより等、学校から出される通信等にも記載し、周知を図る。関係機関等へは、教育委員会事務局から文章を送付して周知する。

緊急時の対応は、保護者からの一報は各学校で対応し、教育委員会は通常どおり対応する体制とする。学校施設利用について調査したが、昨年度、お盆の期間に15校が主にグラウンドの施設利用があった。ただし、当日の職員対応が必要な施設利用はなかった。今年度もすでに10校のグラウンド・体育館等の利用予約が入っている。主に社会体育関係である。地域のソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会等であった。いずれも職員対応は必要ないと聞いている。したがって、従来どおり利用の申し込みがあれば対応する。職員の対応が必要な場合は、別途協議が必要となるが、現状のところはその必要はなさそうである。

先週、設置者である市長協議で了承が得られたので、本日、午後からの校園長会で提案する。

### 《こども育成課長の報告概要》

小中学校のお盆の閉庁により、小学校に併設されている併設幼稚園同じ敷地や建物内にあるため、各園とも協議を行い、防犯面や設備面から小学校と同じく閉庁扱いとする。園の先生方等については、市の職員であるが、どうしてもその日は勤務したいという職員があった場合は、こども育成課と協議を行い、何らかの勤務ができる状態に持っていくことを検討する。

(教育長)

質問・ご意見がありますでしょうか。

(深田委員)

どうしても勤務したいという人はいますか。



(こども教育課長)

昨年度の勤務実績を調べましたが、勤務されていた方が数名おられました。校務員さんも2、3名ありました。教諭も38校の中で5、6人だったと思います。ほとんどが教頭先生・校長先生です。あくまでも休暇は権利で強制はできませんが、実質はほとんどないと思っております。

(こども育成課長)

ほとんどの併設園につきましては、正規の職員の先生と、もう1人、臨時の職員の先生がいらっしゃいます。正規の職員の先生につきましては、有給休暇もたくさんありますし、夏季休暇も使うことができますが、臨時の先生につきましては、夏季休暇も若干少ないです。特に、今年度新規で入られた先生につきましては、年休の日数も少ないことから、別の日に休みを取りたかったというような希望があるかもしれません。その場合は、こちらで対応を考えることとしています。

(教育長)

その他のご意見はないでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

続いて、「学校訪問の実施について」こども教育課長、「こども支援センターの4月の活動状況報告について」、こども教育課参事の報告をお願いします。

## (2) 学校訪問の実施について

### 《こども教育課長の説明概要》

学校訪問の形態として、市教委単独訪問は、教育委員に学校の訪問をお願いする。調査訪問、要請訪問等は県教育委員会の訪問となる。参考に昨年度の実績一覧表を添付している。今年度の予定は、現在、学校との調整中であり、5月下旬には確定する予定である。訪問時の授業等については、教育委員さんの要望も考慮しながら、園・小学校・中学校の校種や、豊岡・城崎・竹野・日高・出石・但東の地域のバランス等を考慮しながら原案を作成し提示する。

## (3) こども支援センター4月の活動状況報告について

### 《こども教育課参事（こども支援センター所長）の説明概要》

支援センターの4月の活動状況を報告する。定例教育委員会で前月の活動の報告をする。不登校への取組については、新年度が始まってから、だいたい4、5人の中学生が学校に行きづらいということで支援センターに来ている。その他に週1度の利用などがあり、実数は7名である。その他に学校や家庭からの相談件数を掲載している。平成28年度は、実数で小学校5名、中学校が26名、合わせて31名が不登校で通級していた児童・生徒があったが、その内24名は学校へ再登校、一部高校へ行っている。通級のみ支援センターに来ている生徒は、7名である。

平成 29 年度は、去年の人数よりも減らせるように努力したい。

学校園に対する特別支援の取組の状況について報告する。学校園から電話や来所、センターの心理士等が直接学校園に訪問し、相談、支援活動を行っている。

検査は心理士が 3 名による、視機能、読み書き、発達検査の WISC-IV 等の検査を行っている。4 月の段階の件数は少ない。

家庭児童相談は、こども育成課の所管となるが、4 名の家庭相談員が主に虐待の相談家庭、不適切な養育状態にある家庭の支援を行っている。延べ件数であるため、件数が多い。関係機関連絡の実件数では、106 名の児童の家庭に関わっている。こちらは、なかなか家庭の状態が改善しないため、継続した支援が必要である。今後状況の変化等があれば、その都度報告する。

(教育長)

質問・ご意見一括してお受けします。いかがでしょうか。

(深田委員)

家庭児童相談の取組の状況を見てもそう思うのですが、子育て支援という意味では、市長部局はどちらかと言えばハードで、教育委員会はソフトをどう整えていくかについてのところを担っていると思います。目に見えて成果は出てこないと思いますが、地道に取り組んでいただきたい。大変だと思いますがこの数が増えればそれだけ成果が上がっていると受け止め、がんばっていただきたいと思います。

(こども教育課参事)

不登校の家庭や、発達障害を抱える家庭は、家庭児童相談の対象家庭である場合もあり、不登校や福祉への取組と一緒に対応できる点では、このこども支援センターのメリットであると考えておりますので、引き続きセンターの中で情報共有しながら対応していきたいと思います。

(教育長)

それではこども育成課から「就学前の児童数について」、「支援に係る園訪問について」説明を求めます。こども育成課長、よろしくお願いします。

### 3 こども育成課

#### 《こども育成課長の報告概要》

##### (1) 就学前の児童数について

4 月 10 日を基準日とし、就学前の 0 歳から 5 歳児の人数について、小学校区別の一覧にした。1 歳児である平成 27 年度生まれは、600 人台に回復しているが、0 歳児である平成 28 年度生まれは 600 人を下回っている。特に 0 歳児は、奈佐小学校区、八代小学校区、高橋小学校区は 0 人である。今の小学生の児童数がだいたい 4,400 人ほどであり、このままの状態では推移すると仮定すれば、この表に示している 0 から 5 歳児が小学生になる 6 年後には 1 割以上、530 人程減ってくることになる。

## (2) 支援にかかる園訪問について

支援にかかる園訪問の実施について、資料に基づき説明する。支援を必要とする園児について、こども支援センター、健康増進課、それから北但広域療育センター「風」などが連携して園訪問を行い、早期発見・早期対応に取り組んでいる。園訪問は、AからEの5つの形態で訪問を行う。Aは、すくすく訪問事業として実施する。年度当初に幼稚園・認定こども園・保育園に指導主事が園へ訪問し、園から支援を必要とする幼児の希望を募る。その後、5月下旬から8月にかけて心理士・保健師、こども育成課の指導主事らが訪問し、保育士へ指導助言を行う。その後園では振り返りシートを作成し、その後の様子などを記録して、相互の連携を図りながら対応する。Bは、北但広域療育センター「風」に通所している園児の保護者から風が要請を受けて行う、保育所等訪問支援事業である。この際、こども育成課の指導主事が同行して、訪問指導を行う。Cについては、A、B訪問の対象外の園児について気にかかる幼児がいる際に、園からの連絡を受けて、随時で訪問する。Dは、園の全体や5歳児のクラス単位など集団で気にかかる場合の随時訪問である。こちらではいじめの芽など早期に発見し対応している。Eは、急な飛び出しや危険を伴う行動など、緊急性のある事案に対して行う随時の緊急訪問である。

Aのすくすく訪問事業では、今まで保育園と認定こども園の長時間児の3歳以上の園児が対象であったが、今年度からは幼稚園・認定こども園の短時間児も対象とし、対象年齢も0から5歳児までとした。北但広域療育センター「風」に通所している園児は、すくすく訪問事業の対象でなかったが、相互に情報を共有し、連携して支援に当たっていく必要があるため今年度からB訪問として加えて実施している。このように、今年度からは幼稚園・認定こども園・保育園に通園する全ての幼児に対応できるように体制を整え、早期発見・早期対応により健やかな就学へつながるよう取り組んでいる。

(教育長)

それでは質問・ご意見等一括して受けませんが、いかがでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

## 【日程第9 教育委員活動報告】

(教育長)

続きまして日程第9「教育委員活動報告」に移ります。短時間で結構ですので、感想を含めて活動で感じられたことがありましたら1人ずつお願いします。

(深田委員)

4月当初の慌ただしさの中で教育委員会事務局も大変だったと思います。私たち自身もこの

ところバタバタしていたような気がしており、もう少し自分の課題についても、しっかりと見つめていかないといけないと感じたところです。特に報告するような事例はありません。

(中川委員)

特に申し上げることはありません。

(佐伯委員)

授業参観で小学校2年生の英語の授業を見させていただきました。今年度から英語の授業が低学年にも導入され、始めて見学しました。担任の先生がやってらっしゃって、とても発音が良く、きれいな発音で指導されていました。しかし、今までの準備に英語が加わり、先生たちの負担がとても大きくなってきているかなというのを感じました。その中でタブレットを使ってらっしゃいました。色を英語で言うと、という勉強をしていたのですが桃の絵が出てきて、白い桃なんですけど「これは何色ですか」と、子どもたちは「ピンク」、じゃあ次はと、次はリンゴが出てきて「レッド」、でもそれも白なのです。タブレットを使おうという意欲は強く持っていらっしゃると思いますが、何の色の変化もなくやっているのだったら普通に映し出すものと一緒ではないかなと思いました。答えを言ったらそれが赤になるとか、答えを言ったらピンクになるとかそういう使い方をされたら内容が濃くなり、タブレットを使う効果がさらに良くなるのではないかと感じました。

## 【日程第10 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして日程第10「教育委員会の活動予定」に移ります。次回の教育委員会の会議予定、今後の活動につきまして教育総務係長の説明をお願いします。

### 《教育総務課教育総務係長の説明概要》

#### 1 次回教育委員会会議の日程について

次回、第3回定例教育委員会会議の日程は前回の会議で決定したが、6月22日(木)に本庁舎3階庁議室で開催する。時間は午後1時30分からだが、都合はどうか。第4回定例会は、7月20日(木)か7月18日(月)に開催したい。

＜ 各委員の都合を確認し、6月22日(木)は、午後1時から本庁舎3階庁議室で開催する。第4回定例教育委員会は、7月20日(木)に開催し、開催場所は後日知らせる。 >

#### 2 今後の活動・行事予定

5月22日(月)に全県教育委員会連合会が洲本市である。理事会は、11時から、12時20分から総会と研修会がある。7時30分に出発する。

一部の資料でトライやる・ウィークの出発時間は、8時40分となっているが、8時30分が正しいので訂正してほしい。その他は、資料に記載しているとおりでである。

(教育総務課参事)

1点補足する。7月5日総合教育会議で、教育委員会側からの議題等について意見があれば、また、聞かせてほしい。前は市長部局から提出された2点の議題のみであり、教育委員会側からは特に提示していなかった。今回はぜひ教育委員会から提示したい。

(教育長)

日程第10につきまして質問・ご意見一括してお受けします。何かございますでしょうか。

(深田委員)

事務局へお願いがあります。市議会に委員長が出ることはなくなりましたが傍聴したほうが良いと思われる質問や答弁があれば、傍聴させていただきたいと思います。そのあたりについて、事務局にお願いしたいが…

(教育総務課係長)

おおよその答弁の時間帯が分かりますので、質問や答弁資料と合わせてご案内します。

(教育長)

その他ございませんでしょうか。それではこれで各課からの報告を終了いたします。2時間にわたった会議ですが、以上で日程は終了となります。何かございませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

それではこれもちまして、今回の定例教育委員会は終わります。次回は6月22日、午後1時から開会しますのでよろしくお願ひします。それでは、これで閉会いたします。